

市民芸術祭テーマ決まる 「ふるさと狭山 ～ちよっくら来てくんろ～」

狭山市文化団体連合会は平成11年9月に産声をあげて満15年になりました。本年度は、文団連設立15周年を記念し、第15回狭山市民芸術祭を下記の要領で市民会館との共催で開催します。

今年度はテーマに沿って「ふるさと狭山」にまつわる展示・舞台など様々な企画を進めています。併せて大ホールロビーでは、大震災被災地支援展示、公募文芸作品の展示や、ミニステージ、模擬店の出店等により、賑わいを演出します。

実行委員会では、充実した総合芸術祭にすべく、総力を挙げて準備を進めていきます。より多くの市民の皆様に参加していただける事を願っています。

第15回狭山市民芸術祭実行委員会

第15回狭山市民芸術祭

- 開催日＝平成27年2月24日(火)～3月1日(日) ●場所＝狭山市市民会館
- 主催＝狭山市文化団体連合会 ●共催＝狭山市市民会館
- 内容(予定)＝展示部門：日本画・洋画・版画、書・彫塑・写真・手工芸作品・いけばなの展示、青少年文化体験フェスタ参加児童の絵画作品展示

茶席：2月28日(土) および3月1日(日)

小ホール公演：2月28日(土) 舞台公演「世代を超えて」

会員団体による、詩吟・民謡・舞踊・ハワイアン演奏とフラ・オカリナ演奏などの他、被災者支援プロジェクト、および青少年文化体験フェスタ参加児童による発表

大ホール公演(有料)：3月1日(日) 舞台公演「ことばとリズム in 狭山」

チケット料金(前売り700円、当日900円、小学生以下500円)

第1部＝ふるさと狭山の歴史や民話・伝承などを題材に、合唱や語り・舞踊・群読などで構成した舞台

第2部＝狭山在住のプロエンターテイナーによる舞台公演

ザクト慶(マジックショー)、三代目 若松若太夫(説教浄瑠璃)

中島まさる(演歌)、浜田太一(コント集団 ザ・ニュースペーパー所属)

大ホールロビー：一般公募文芸作品の展示・朗読、企画展示とミニステージ、さやまのB級グルメ模擬店、など

年に一度の成果を熱演！ 第34回 狭山市民謡協会 民謡のつどい

民謡は「こころの故郷」と言われ、祖先から唄い継がれた文化財ですが、近頃若い人の関心が少ないのが心配です。残暑の中、8月24日(日)狭山市市民会館小ホールで「民謡のつどい」を開催。八会派約100名が、個人、合唱、合奏で自慢の喉と技を熱演。

また、文団連の事業で生まれた「狭山ふるさと音頭」が三味線の伴奏で合唱され、大いに会場を盛り上げました。式典では文団連 横山会長が、青少年文化体験フェスタでも民謡は人気、次の世代に繋げて欲しいと話されました。

今年も80歳以上の出演者十名に、更なる研鑽をと中村会長より奨励賞が贈られました。

(狭山市民謡協会 高沢正夫)



中村会長から奨励賞の授与